



生物多様性のための 22 のアクション

2022 年「[生物多様性の日](#)」キャンペーン期間中、生物多様性のための 22 のアクションリストを様々な対象者向けに順次公開し、自然のための行動を喚起していきます。これらのアクションは、[ポスト 2020 枠組み](#)に沿ったものです。一般の方にも呼びかけていきます。

- ・ 22 のアクションのいずれかを採用する、または独自のアクションやリストを提案する。
- ・ ハッシュタグを付けて、自分たちのアクションの写真や動画を SNS で共有する。
#BiodiversityDay #生物多様性の日（[他の言語でも可](#)）を付けてください。
- ・ 5 月 22 日に向けて、キャンペーンでは世界各地で行われるこれらのアクションを紹介していきます

COVID-19 の流行が続いていることから、2022 年の生物多様性の日は、参加者全員の安全を確保するため、オンラインキャンペーンを中心に記念行事を行う予定です。

以下のアクションリストは、すべてを網羅するものではありません。オンラインと対面でのアクションの例を挙げています。地域の状況、COVID の文脈、関連する制約を考慮し、皆さんの国でどのような啓発キャンペーンや行動喚起が可能かは皆さん自身が詳しいと思います。私たちは、国や地域によっては実現不可能なアクションがあることも認識しています。一般市民は、一般的なものであれ、専門的な分野であれ、独自のアクションやアクションのリストをご提案いただくのも歓迎です。

21 のアクションは、[第 15 回生物多様性条約会議（COP15）](#)で採択される 2020 年以降の[ポスト 2020 枠組み](#)に沿ったものです（ただし、同一ではありません）。これらのアクションを通じて、一人ひとりが枠組みの中で設定された目標の達成に貢献することができます。

22 番目のアクションは、「[生物多様性の日](#)」を祝うことです。

[#BiodiversityDay](#)

[#COP15](#)

[#ForNature](#)



生物多様性の日
5月 22日

生物多様性のための 22 アクション 一般市民によるアクション

Courtesy of the *Nature Conservation Society of Japan*

1. 身の回りをきれいにしよう

- ・ リモートで:
すでにこのような活動をしている NGO（または他の団体）を、寄付やオンラインでのボランティア活動を通じて支援することができます。もしあなたがエンジニアリングの才能があったり、とてもクリエイティブで独創的で機知に富んだ人なら、環境浄化を支援するロボットやアプリを作ることでもできますね
- ・ 個人で:
近所、公園、森、ビーチ、川辺、あるいはただの通りをきれいにしよう（プラスチックやゴミが川に流れ込んだり、動物に食べられたりしないように）。
- ・ ボーナスポイント:
生物多様性のホットスポットを特定し、その保護に努めましょう。生物多様性ホットスポットの保護に地域社会を巻き込みましょう。

2. 近所でも遠方でも、地域を元気にしよう

- ・ リモートで:
寄付やインターネットでのボランティア活動を通じて、復興支援プロジェクトに参加することができます。プロジェクトは、あなたの地元で行われることもあれば、別の地域で行われることもあります。
- ・ 個人で:
放置された場所や手入れの行き届かない場所に、固有の樹木や低木などの植物を植えることで生態系の回復をする。自宅、学校、職場などの周辺に野生生物の生息地を作る

- ・ 専門家レベル：
土壌を除染する。有機汚染物質を分解し、無機化合物を無害化する微生物を利用する方法があります。

3. サンプルを採るのではなく、写真を撮ろう

- ・ 自然の中に入るときは、邪魔をしたり傷つけたりせず、サンプルも集めないようにしましょう。その代わりに、写真を撮って、Instagramの [@UNBiodiversity](#) コミュニティーに参加しましょう。もしかしたら、私たちのアカウントを独占することができるかもしれませんよ！

4. 大小様々な動物を助けよう

- ・ リモートで：
野生動物保護施設やリハビリテーションセンターを、時間的・金銭的な支援でサポートする。
- ・ 個人で：
苦しんでいる動物を見かけたら、最寄りの動物保護施設に連絡してください。浜辺にいるクジラから歩道にいるミミズまで、取り残されている動物を助けることもできます。

5. 人獣共通感染症の蔓延を防ごう

- ・ 周囲の水源を清潔にし、廃棄物を周囲や生態系から取り除きましょう。
- ・ 生物多様性の豊かな地域や原生林に侵入しないようにしましょう。
- ・ 動物に触れた後は手を洗いましょう。

6. （固有の）木や低木、植物を植えよう

- ・ この行動は、外来種の影響に対抗するためのものでもあります。
- ・ リモートで：
外来種を駆除する NGO やプロジェクトを、オンラインボランティアや寄付で支援する。
- ・ 個人で：
固有種や花粉媒介者に優しい樹木、低木、植物を植えることで、地域の動物たちの生息地と食料源を増やすことができます。
- ・ ペットを野生に放さない（そもそも、固有種でないペットを購入しない）。
- ・ 専門家レベル：
自分の住んでいる地域に侵入してくる外来種を知り、それを根絶する方法を見つけよう。

7. 責任を持って消費しよう

- ・ 以下のような商品/食品を優先的に購入する。
 - 環境と健康に害を与えずに（地元で）生産されたもの。
 - 包装が少ないか全くなく、加工や化学薬品も少ない。これは、あなたにとっても健康的です。
 - 堆肥化、リサイクル、再利用が可能なもの。
- ・ 廃棄物の発生を最大限に減らそう（製品を作るために発生した廃棄物を心にとめておこう）。
- ・ 個人で：
地元の作物や品種を調理する。家族や友人と一緒に新しいレシピに挑戦しましょう。地元の果物、野菜、古い穀物などの多くは、栄養価やその他の品質があるにもかかわらず、忘れられたり、十分に活用されなかったりしがちです。

8. エネルギーを節約しよう

- ・ 必要のないときは、照明や電化製品の電源を切る。また、化石燃料の使用量を減らしたり、肉類（特に工業的農場産）の摂取を控えたりするのもよいでしょう。
- ・ 専門家レベル：
家庭やオフィスに再生可能エネルギーを装備しよう。

9. シェアしよう

- ・ 他の人、特に貧しい人たちと分かち合いましょう。あなたの物が再利用されるだけでなく、それを最も必要とする人たちを助けることができるのです。
- ・ 遠隔で：
あなたの地域や海外の慈善団体や人道支援団体にお金や品物を寄付しよう。
- ・ 個人で：
自分の住んでいる地域の恵まれない人と分かち合おう。

10. 生物多様性に配慮した製品を購入しよう

- ・ あなたの国で、食品やその他の製品を認証するためにどのような認証制度が適用されるかを学ぼう。または、環境に関連する他の認証制度を検索しよう。ない場合は、普段使っている食品や製品の製造方法・原産地について知り、生物多様性への影響を検討しましょう。
- ・ 専門家レベル：

生物多様性関連の認証制度がない場合は、認証制度を立ち上げましょう。自然を助けるだけでなく、雇用を創出することで地域社会にも貢献できます。

11. 禁煙を支援しよう

- ・ Description 環境の健康増進は、人々の健康増進につながります。「近道」をして、誰かの健康に直接良い影響を与えることができます。
- ・ 友人や大切な人の健康増進をサポートするために、自分から積極的に行動しましょう。これは、遠隔（電話やビデオ通話）でも、一緒に住んでいる場合は対面でも可能です。喫煙はその一例ですが、健康的なライフスタイルを促進するものであれば、何でもかまいません。

12. 郊外の生物多様性を楽しもう

- ・ 忙しい都会の生活から少し離れて、近所の公園や自然を楽しむ時間を作ってみてはいかがでしょうか。窓際に鉢植えを置く、低木を植える、巣箱、蜂の巣、コウモリ小屋、昆虫“ホテル”などを作る、池を掘るなどして、そうしたスペースがない場合は作ってみましょう。（ネットで調べれば、数え切れないほどのアイデアが見つかります）。

13. 倫理観の高い企業を支援しよう

- ・ アクセスと利益配分に関する名古屋議定書について学び、[エシカル・バイオトレード基準](#)や[フェアワイルド基準](#)などの倫理的基準に取り組む企業、特に先住民や地域社会の権利を尊重し推進する企業を支援しましょう。

14. 生物多様性に悪影響を与える習慣を1つ変えよう

- ・ あなたは、使い捨てのものを使っていますか？ タバコの吸殻や生分解性でないものをポイ捨てしていませんか？ 除草剤・殺虫剤を使用していますか？ 工業的農場産肉をたくさん食べていますか？ 古い機器がまだ使えるのに、最新の技術（材料の採取や二酸化炭素の排出につながる）を買っていますか？ 私たちは皆、少なくとも1つは生物多様性に悪い習慣を持っているのです。
- ・ 専門家レベル：
環境に配慮するリーダーを選ぶか、次の選挙で立候補する人は、環境の管理者として自分をアピールしましょう。

15. 事業者責任ある調達を求めよう

- ・ 特定の企業やブランドから製品やサービスを受けるのは好きだが、それが環境に有害でないことを確認したいと考えていませんか？ 環境への影響について尋ねたり、環境に配慮した業務を行っているかどうかを確認しましょう。
- ・ 専門家レベル：
企業であれば、「[ビジネスと生物多様性のためのグローバル・パートナーシップ](#)」、「[自然関連財務情報開示タスクフォース](#)」、および/またはその他の同様のイニシアティブに参加しましょう。

16. 無駄を省こう

- ・ 不必要な消費を抑え、再利用できるものは再利用し（あるいは誰かに譲り）、そうでない場合は製品またはその構成部品をリサイクル・堆肥化し、廃棄物をできる限り少なくしましょう。また、この製品を作るために発生した廃棄物や、二酸化炭素排出量などにも気を配りましょう。
- ・ 自分で食料を育てよう。多くの作物やハーブは簡単に育てることができます。お金を節約できるだけでなく、二酸化炭素排出量も減らすことができます。
- ・ 専門家レベル：
あなたが企業/生産者/供給者である場合、より環境に優しい代替品について顧客を教育してください。

17. バイオセーフティについて学ぼう

- ・ バイオセーフティーとは、遺伝子組換え生物（GMO。LMO と表記されることもある）を安全に使用することです。バイオセーフティに関する [カルタヘナ議定書](#) の主な目的は、生物多様性に悪影響を及ぼす可能性のある現代のバイオテクノロジーから生まれた LMO を、人間の健康に対するリスクも考慮しながら安全に取り扱い、輸送、使用することにあります。[バイオセーフティー・クリアリングハウス](#) では、リスク評価文書による LMO の潜在的なリスクに関する詳細情報を提供しています。

18. 生物多様性に配慮した企業を支援しよう

- ・ あなたの信念をお金に換えましょう。生物多様性に配慮した企業に投資し、自然を傷つけている企業からは撤退しましょう（その旨を伝えましょう）。以下は、そのためのリンクです。[ビジネスと生物多様性のためのグローバル](#)

・ パートナーシップ、Act4Nature、Taskforce on Nature-related Financial Disclosures、など。

19. 環境保護団体を支援しよう

- ・ 環境の保全・回復や人助けに取り組む NGO などの団体を、寄付やボランティア、活動への参加などを通じて、オンラインまたは直接支援しよう。

20. 生物多様性への意識を高めよう

- ・ 自然や生物多様性に配慮した実践について学び、その知識を家族、友人、隣人、地域社会などと共有する。自然を好きにさせよう
- ・ 専門家レベル:
人によって価値観が異なるため、対象者ごとに異なるアプローチが必要であることを認識し、生物多様性に配慮した行動を促進しよう。

21. 誰かに力を与えよう

- ・ 私たちが下す決断は、しばしば他の人に影響を与えます。それについて、彼らの意見を聞いてみましょう。彼らの視点は、状況やあなたの決断がもたらす可能性のある結果について、より良い見解を与えてくれるかもしれません。

22. 「生物多様性の日」を祝おう

- ・ 5月22日は「生物多様性の日」です。あなたの国で行われているお祝いに参加したり、他の人を巻き込むような活動を企画してみませんか？ 詳しくは www.cbd.int/biodiversity-day。誰でも参加できる活動です！

#BiodiversityDay

#COP15

#ForNature